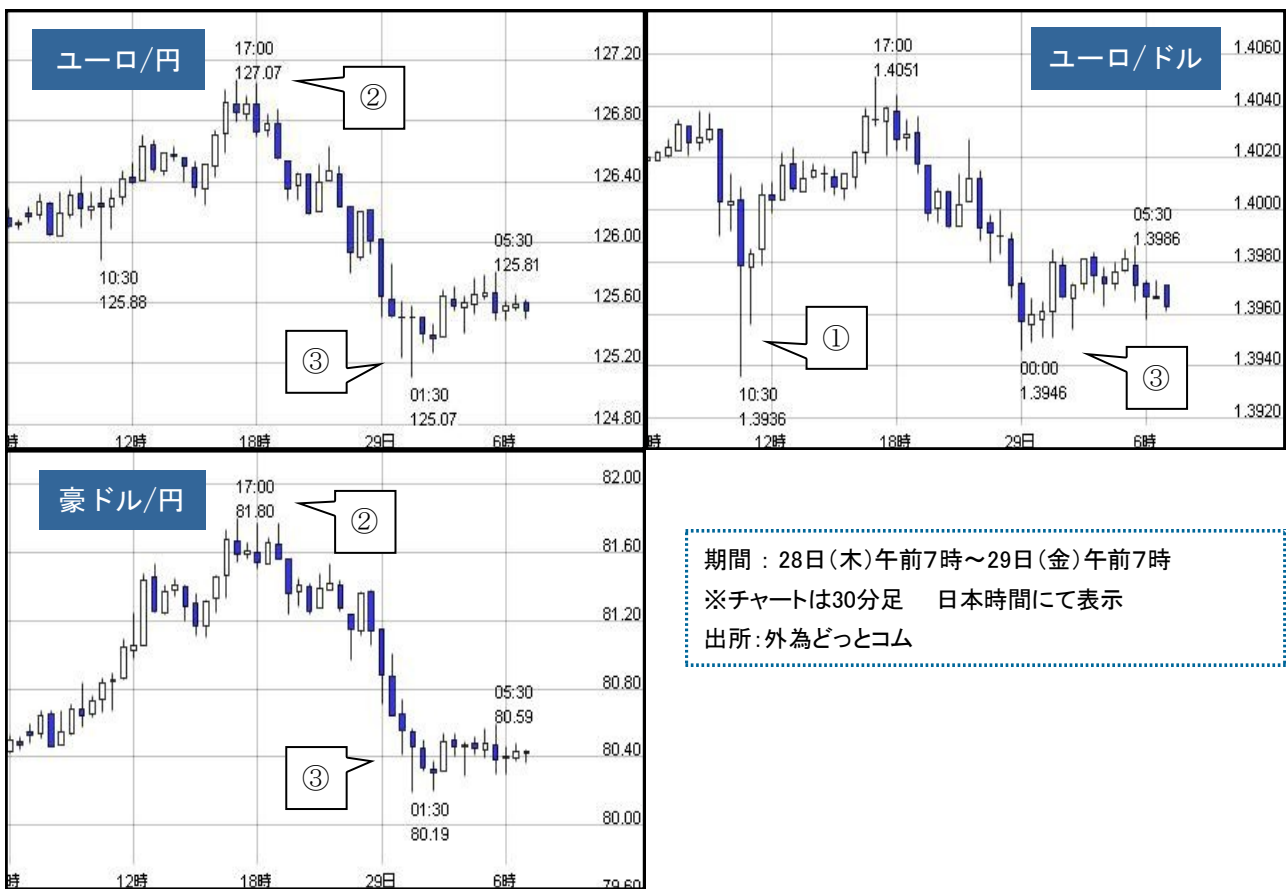


1月29日(金曜日)  
ユーロ/円  
ユーロ/ドル  
豪ドル/円

## 米第4四半期GDPに期待 リスク回避ムード払拭できるか

### 28日(木)の主な推移



期間：28日(木)午前7時～29日(金)午前7時  
※チャートは30分足 日本時間にて表示  
出所：外為どっとコム

- ① ユーロ/ドルは、米オバマ大統領の一般教書演説前の薄商いの時間帯を狙って、短期筋が売りを仕掛けると、1.40ドルの抵抗線を割り込んだことで損失確定の売り注文を誘発し下落幅を拡大、午前10時30分過ぎには1.3936ドルの安値を付けた。
- ② 米オバマ大統領の一般教書演説で金融規制案についての言及が予想したほどには厳しいものではなかったことから、リスク回避の動きが後退し、アジア株や時間外のNYダウ先物が上昇すると、これにつれてクロス円(ユーロ/円や豪ドル/円など)は上昇した。この流れは欧州時間序盤にも引き継がれ、17時過ぎにはユーロ/円127.07円、豪ドル/円81.80円の高値を付けた。
- ③ 22時30分に発表された米12月の耐久財受注(前月比+0.3%)や1/17までの週の新規失業保険申請件数(47万件)がいずれも事前予想よりも弱い数字となったことで、その後取引を開始したNYダウ平均株価が軟調となり、一時150ドルを超える下落となると、投資家のリスク回避姿勢が強まり、ユーロ/円は125.07円、ユーロ/ドルは1.3946ドル、豪ドル/円は80.19円まで下落した。

### ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

### 豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

### 本日の見通し

#### 本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.3850-1.4100ドル  
ユーロ/円 : 124.00-127.00円

#### 本日の予想レンジ

豪ドル/円: 79.30-81.80円

昨日のNY株の下落の影響で、本日の日経平均株価も下落が予想されアジア時間のユーロ相場は上値が重い展開となりそうだ。週末の取引となることもリスク回避の動きを促す事になりそうで、ユーロ/円、ユーロ/ドルともに下値を試す動きが見られそうだ。ただ、NY時間には米第4四半期GDPが発表予定で、前期比年率+4.7%の高い伸びが予想されており、予想以上の高成長が示されれば、NY株価の反発とともに、ユーロが上昇する可能性もありそうだ。

来週2日に豪中銀の理事会を控え、追加利上げが見込まれているものの、外部環境に懸念材料が多く、投資家のリスクを取る姿勢が盛り上がらないなかでは、豪ドル/円が大きく上昇する可能性は低いだろう。さらに本日は、週末の取引となることでリスク回避の動きが強まりやすい地合いが予想される。中国の引き締めなどのニュースにも引き続き注意が必要な状況であり、豪ドル/円の上値が重い展開は続きそうだ。米第4四半期GDPに期待が集まっており、リスク回避ムードを払しょくできるかに注目しておきたい。

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/29(金)	19:00		(ユーロ圏) 12月失業率	10.0%	10.1%
	19:00	○	(ユーロ圏) 1月消費者物価指数・速報[前年比]	+0.9%	+1.2%
	22:30	◎	(米) 第4四半期GDP・速報値[前期比年率]	+2.2%	+4.7%
	23:45	○	(米) 1月シカゴ購買部協会景気指数	58.7	57.2

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。